

2020 July

Vol.73

# 広島西医療センターNEWS

発行所:独立行政法人 国立病院機構 広島西医療センター

〒739-0696 広島県大竹市玖波4丁目1番1号 TEL.0827-57-7151(代) <https://hiroshimanishi.hosp.go.jp/>



蛇喰岩 (写真提供: 広島県)

## CONTENTS

■血液内科 紹介……………2	■患者図書室から……………10
■コメディカル紹介【薬剤部門】……………4	■栄養士のつづやき®……………11
■皆でコロナウイルス感染症対策を徹底し乗り越えよう…6	■地域医療連携室実績報告……………11
■ひこばえ(薬)のお話……………8	■外来診療分担表……………12
■認定看護師・特定行為看護師のエンブレムが出来ました…9	

## 病院理念「患者さんと共に」

### ■基本方針

1. 患者さんの意思の尊重と信頼関係の確立
2. 地域に密着した良質で安全な医療の提供
3. 予防医療への貢献
4. 医療の質の向上のための研鑽
5. 経営基盤の確立

### ■「患者の権利」宣言

1. 個人の尊厳の権利
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 自分の受けている医療について知る権利
4. 自分の意見を表明し、自己決定する権利
5. 個人のプライバシーが守られる権利



公認キャラクター  
「にっしーくん」

# 血液内科 紹介

血液内科医長 黒田 芳明

## 【はじめに】

当院の血液内科は血液疾患（白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫などの血液悪性腫瘍、その他、貧血・出血性疾患など各種血液障害）を主として診療しています。常時40人前後の入院患者に対応しており、大竹市はもちろんのこと五日市・廿日市を含む広島県西部～岩国・柳井を含む山口県東部からも広く血液疾患の患者さんをご紹介いただいております。この地域においてはトップクラスの診療規模を維持しています。（※令和元年度から専門性を明らかにするために内科から独立し、血液内科を標榜しました。）

## 【診療メンバー】

常勤医 4名（黒田芳明（医長）・下村壮司（臨床研究部長）・宗正昌三・角野 萌）にて日々外来・入院診療に従事しています。うち3名は血液専門医であり、このように血液内科医が複数勤務する医療機関は近隣に少なく、当地域において高い専門性をもって血液疾患、特に血液悪性疾患の診療を行うことができます。2名は血液指導医の資格も有しているため日本血液学会認定血液専門医研修施設として血液専門医の育成が可能です。実際来年には4名全てが血液専門医を取得する予定です。

## 【疾患・診療内容】

### ●化学療法

当院ではほぼすべての血液疾患の診断・治療を行っています（図1）。入院治療は主に血液悪性腫瘍の化学療法（抗がん剤治療）を行っています。高齢化に伴い、多発性骨髄腫・悪性リンパ腫・骨髄異形成症候群などの発症が増加しており、若年の方ももちろん、高齢の方でも化学療法が必要になります。血液悪性腫瘍の治療の中心は化学療法の副作用との闘いになりますが、副作用として重要なものに骨髄抑制があります。骨髄抑制とは抗がん剤により造血が一時的に障害され、正常の免疫細胞である白血球が減少し感染症を合併することにつながります。長期に骨髄抑制が起こると感染症自体が致命的になるため、無菌室における無菌管理が望ましい、あるいは必須になる場合があります。当院ではこれまでのバイオクリーンルーム（無菌室）3床に加え、令和元年から16床を無菌室として改築し、計19床で無菌管理を必要とする血液疾患治療が可能となりました（写真1）。



写真1

図1：新規発症入院患者数

年	急性白血病	悪性リンパ腫	骨髄異形成症候群	骨髄増殖性疾患（CMLなど）	多発性骨髄腫	赤血球・血小板・凝固疾患
平成27年	9	35	3	1	6	6
平成28年	19	30	9	3	7	8
平成29年	8	19	7	0	8	6
平成30年	9	26	11	3	13	3
令和元年	7	32	17	7	9	9

### ●自己末梢血幹細胞移植（を併用する大量化学療法）

悪性リンパ腫の再発時や、65才以下の多発性骨髄腫の標準治療として自己末梢血幹細胞移植を伴う大量化学療法

を行います。血液悪性腫瘍は化学療法がよく効くため、さらに大量の化学療法を行うことで腫瘍細胞を駆逐することが可能になります。同時に造血の種である患者さんの血液幹細胞を治療後に移植することで骨髄抑制の副作用を軽減できます。この治療は無菌室管理と後述する院内で当日に行う細胞表面抗原検査が必要であり、広島県内・山口東部でもこの治療が可能な施設は当院含め広島大学病院、広島赤十字原爆病院など数施設しかなく、当科では長年にわたる診療実績もあります（図2）。

図2：造血幹細胞移植(平成13年～R1年 計94件)

	自己末梢血 幹細胞移植	血縁末梢血 幹細胞移植	血縁骨髄 幹細胞移植	自家骨髄移植
平成13年～令和元年	83	7	3	1
令和元年	7	0	0	0

### ●分子標的薬治療

血液悪性疾患は化学療法が有効であると述べましたが、化学療法による治療効果が得られにくい場合は分子標的薬といわれる新規薬剤による治療を行います。慢性骨髄性白血病に対するチロシンキナーゼ阻害剤や悪性リンパ腫に対する抗CD20抗体（リツキシマブ）などはすでに一般的に使用されていますが、それ以外の疾患にも次々と新規薬剤が登場しています（図3）。難治性疾患の代表である多発性骨髄腫には10種類に及ぶ新規薬剤を組み合わせながら使用することができますが、当科スタッフもこれらの治療に習熟しており、患者さんの状態に合わせながら積極的に治療を行っています。

血液悪性疾患の化学療法のほとんどは半年にわたる長期の治療が必要となります。治療の内容や患者さんの希望に合わせて外来通院で抗がん剤治療が可能な外来化学療法も行っています。ご高齢の方は体力の消耗が激しく入院を要することが多いですが、当院は比較的長期の入院で治療を継続することも可能です。その場合も身体機能を維持するためのリハビリテーションも治療と合わせて行い、病気の改善に伴いできるだけ早い自宅復帰ができるように心がけています。特にご高齢の方に対しては、治療一辺倒ではなく、可能な限り在宅で過ごすことのできるような副作用の少ない治療方法を併せて提示し、患者さんやご家族の人生観・価値観に応じた対応を行っています。

図3：多発性骨髄腫における治療選択肢（黒田作成）

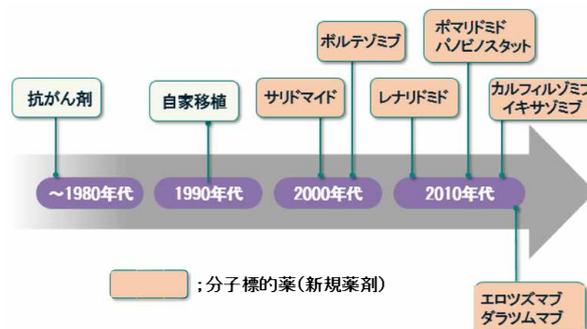


写真2

### 【治療方針】

血液悪性腫瘍については、原則として国際的な診療指針に従い、臨床研究で治療効果および安全性が証明された標準治療を行っています。当科に受診・入院された全ての患者さんについて、初診時・再発時を中心に毎週スタッフ医師4名全員で診断・治療方針を議論・共有し、診療にあたっています（写真2）。有効な治療が期待できる場合には国立病院機構ネットワークや日本白血病グループの臨床試験への参加をお願いしています。新薬の適応拡大を見据えた国際共同治験にも積極的に参加しています。

### 【チーム医療・スタッフ教育】

#### ●診断

血液疾患の診断には末梢血および骨髄穿刺標本の所見が重要であり、悪性リンパ腫などは腫大したリンパ節の生

検材料から病理学的診断を行います。近年は加えて細胞表面抗原検査や遺伝子検査が診断・治療方針決定のために必須となっています。血液検査室および病理診断科と連携をとり検査当日から数日のうちに診断確定・治療開始ができる体制を整えています。定期的にカンファレンスを行い、診断情報をアップデート・共有しています。

### ●治療

また、血液疾患の治療を全人的に行うためには医師・看護師だけでなく、薬剤師・リハビリテーション・臨床心理士・地域連携室メンバー・(メディカル) クラークとの連携が必須です。特に入院治療においては治療方針/経過・患者さんおよびご家族の治療希望・社会支援体制などの情報を共有し、入院中はもちろん退院へむけてスムーズに診療が行えるように週1回、上記多職種による病棟カンファレンスを行っています(写真3)。また、月一度、血液疾患治療にかかわるテーマを決めてコメディカル・医師双方の勉強会を行い、最新の知識をアップデート・共有しています。



写真3

### 【おわりに】

近年、血液疾患の治療は分子標的治療薬をはじめとした新規治療が数多く用いられるようになり複雑化していますが、治療成績は確実に向上してきています。従来の化学療法に加えこれらの最新の治療を安全に患者さんに提供できるように、地域の医療施設・血液内科関連病院と連携を取りながら、スタッフ一同、努力していきたいと思えます。

## コメディカル紹介

## 薬 剤 部 門

薬剤部は、薬剤師16名、薬剤助手3名の計19名で、日々業務を行っています。

薬剤部の業務は、薬に関する多種多様な業務がありますのでご紹介します。

### 1) 調剤業務

医師の処方せんに従って、処方内容の確認(薬の量や飲み方が適正であること、飲み合わせに問題はないか、注射剤の配合変化・投与方法・投与速度等の確認)を行ったうえで薬剤を取り揃えます。また、当院では慢性病棟の多くの患者さんが錠剤を服用できないことがあるので、錠剤の粉碎・カプセルの脱カプセルや簡易懸濁の可否を判断して調剤しています。



### 2) 製剤業務

治療に必要とされる、市販されていない薬剤(注射剤、軟膏剤、点眼剤、坐剤、消毒剤等)を院内で調製しています。

### 3) 医薬品情報業務(DI:Drug Information業務)

薬に関する最新の情報を収集し、適正に使用されるように医師、看護師、その他の医療スタッフ及び患者さんに情報を提供しています。

### 4) TPN及び抗がん剤の無菌調製

抗がん剤や、食事がとれない患者さんのための高カロリー輸液の混合調製を行っています。無菌的に注射薬を調製する必要がある患者さんのために、安全キャビネットやクリーンベンチの中で調製を行っています。

### 5) 病棟薬剤師業務

入院されてきた患者さんの持参薬をはじめとする情報を入院中の治療に必要な情報を調べ、医師、看護師に提供しています。又、病棟担当薬剤師が入院患者さん各々に実施される薬物療法をより細かにチェックしています。退院に際しては、調剤薬局の薬剤師さんに入院中の情報を提供することで退院後も一貫した薬物治療が実施できるよう業務を行っています。

## 6) 服薬指導業務

安心、安全な医療の提供するために、薬の効果や副作用を患者さんに理解してもらい一緒に治療を行うために、入院中はベッドサイドにて薬効、副作用及び薬の飲み方を直接説明し、患者さんの質問にも答える業務です。外来では、薬効のほかにインスリン注射、血糖値測定や喘息の吸入器の使い方などについても指導しています。

## 7) 薬学生長期実務実習受入れ

薬学教育では、5年生時に病院で11週間の病院実務実習が必須になっています。そこで、コア・カリキュラムに基づき前半は調剤、注射などの薬剤部内での専門的な業務を行い、後半は指導薬剤師のもとで病棟やチーム医療への参加など通して、患者さんへの服薬指導や他職種との関わりを学び、未来の薬剤師育成に協力しています。

## 8) チーム医療への参画

### ○NST (栄養サポートチーム)

患者さんの栄養状態を把握し、栄養状態不良の患者さんに対して適切なサポートを行うチームです。薬剤師は輸液のカロリー計算や投与設計などを提案しています。

### ○糖尿病対策チーム

糖尿病患者さんを対象に、血糖値を下げ、合併症を予防するために様々な取り組みを行っているチームです。薬剤師は内服やインスリン注射の使い方や副作用について説明を行っています。院内で行われる患者会でも大活躍しています。

### ○緩和ケアチーム

生命を脅かす疾患による問題に直面する患者さんとそのご家族に対して苦しみを予防し、和らげることで、よりその人らしく生活を送ることができるよう支援する治療やケアを緩和ケアといいます。薬剤師は、緩和チームの一員として院内ラウンドなどの活動に参加し、医療用麻薬や苦しみを緩和する目的で使用される薬剤の使用に関して提案を行っています。



### ○ICT(感染制御チーム)・AST (抗菌薬適正使用支援チーム)

ICTは病院内の感染対策を担うチームです。薬剤師は感染症を広げないために消毒薬などの情報を提供し、感染対策を推進しています。

ASTは病院内や地域における抗菌薬の適正使用を推進するチームです。薬剤師は感染症の治療薬(抗菌薬)の使用状況を把握し、適正な使用を推進すべく投与設計を提案しています。

## 9) 治験に関する業務

治験に関しては、後日、臨床研究部・治験管理室紹介があるので、待っていてください。





# 皆でコロナウイルス感染症対策を徹底し乗り越えよう!

感染対策チーム 林 谷 記 子



日本中がコロナ禍する中、6月4日(休)～6月9日(火)の6日間、感染対策に関する研修会を行いました。今年度1回目の研修のテーマは、2019年12月に中国武漢で発生した原因不明の肺炎【新型コロナウイルス感染症対策について】と題して、ポスター掲示の研修を行いました。

日本でも4月に緊急事態宣言が出され、6月には一旦解除となりましたが、現在も東京を中心に20才～30才台の発症者が多くなっている状況にあります。新型コロナウイルス感染症は感染した人が全員発症するわけではなく、無症状で経過する場合もあると考えられています。症状が出るまでの期間は約14日(中央値5日間)で、そのまま風邪症状で改善している人が8割程度いると言われていています。高齢者や高血圧、糖尿病、呼吸器疾患(喘息、COPD)、がん、免疫不全、人工透析などの基礎疾患がある方は特に重症化しやすいことが分かっています。当院でも持込みでの感染、入院患者さんが発症した場合、他の患者さんへ感染を上げない為の対策が重要となります。私たちができる管理を徹底することが重要と考え、職員の自己の体調管理、手洗いの重要性、咳エチケット、環境整備の方法についてポスター掲示とし説明を行いました。6日間の自由参加としましたが、医療従事者だけでなく、事務や外部委託の職員等、参加者は622名で93.5%の参加率でした。

新型コロナウイルス感染症は、一旦流行が収まっても必ず第2波、第3波が来ることが予測されています。何時、何処で新型コロナウイルス感染症にかかるか分からない場合があります。医療従事者として日頃から“新しい生活様式”に基づいて、3つの密(密閉空間、密接場面、密集場所)を回避した感染対策を意識し、患者さんに接することができるようにしていきたいです。今後も職員へ必要な情報を提供し、感染対策が実践できるよう取り組み、皆でコロナウイルス感染対策を徹底し乗り越えていきたいと思ひます。

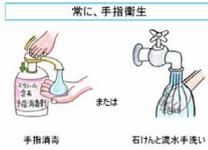


リンクナース委員会での个人防护具装着研修

# 新型コロナウイルス感染対策

## 大事なのは手指衛生！

・コロナウイルスはエンベロープを  
もっているためアルコールが効く



**手洗いの、5つのタイミング**

- 公共の場所から帰った時
- 咳やくしゃみ、鼻をかんだ時
- ご飯を食べる時
- 病気の人のケアをした時
- 外にあるものに触った時

アルコールがない場合でも石鹸での手洗いで十分です！



広島西医療センター 感染対策委員会

# 新型コロナウイルス感染対策

## アルコール消毒剤での手指衛生の方法

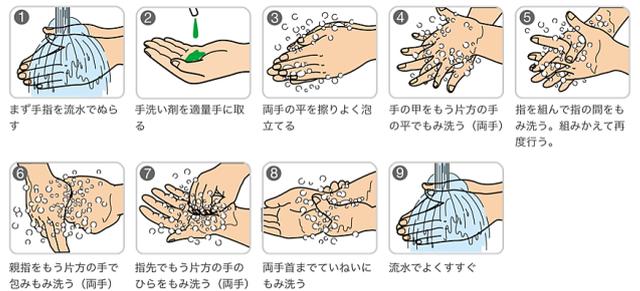
アルコール手指消毒剤による手指消毒手順 (例)



指先を特に念入りに

## 流水とせっけんでの手洗いの方法

手洗い剤と流水による手洗い手順 (例)



広島西医療センター 感染対策委員会

# 新型コロナウイルス感染対策

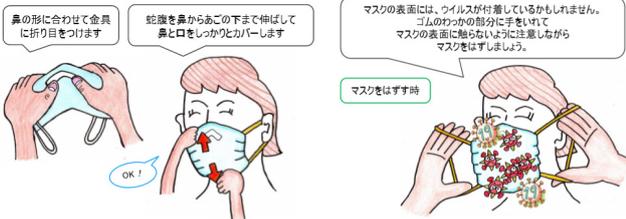
## 飛沫感染対策が大事！

- ・せき・くしゃみなどの飛沫は2m飛ぶため、必ずマスクを装着する・咳エチケットをする
- ・自分の首より上を手洗いせずに触らない



マスクをすれば感染をしないことはない。  
自分の飛沫を飛ばさないため、咳エチケットとしてマスクはつけよう！

・自身の顔や髪の毛を触るときも手指衛生をしないとコロナウイルスが目や鼻、口などの粘膜から感染するよ。



広島西医療センター 感染対策委員会

# 新型コロナウイルス感染対策

## 3蜜を避ける！

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をおねがいします

**「密閉」「密集」「密接」しない！**

- 「ゼロ密」を目指しましょう。屋外でも、密集・密接には、要注意！

他の人と十分な距離を取る！

窓やドアを開けこまめに換気を！

屋外でも密集するような運動は避けましょう！  
歩人数の散歩やジョギングなどは大丈夫

飲食店でも距離を取りましょう！  
・多人数での会食は避ける  
・隣とつ排はしに座る  
・互い遠くに座る

会話をするときにはマスクをつけましょう！  
5分間の会話は1回の咳と同じ

電車やエレベーターでは会話を慎みましょう！

- 参考文献
- ・厚生労働省HP・WHO・CDC・国立感染症研究所HP
  - ・日本環境感染学会・日本感染症学会・職業感染制御研究会
  - ・国立国際医療研究センター・東北医科薬科大学感染制御部・東北大学
  - ・広島県新型コロナウイルス感染症についてHP
  - ・日本赤十字豊田看護大学・エクスパートナーズ
  - ・medical SARAYA・丸石製薬

広島西医療センター 感染対策委員会

# ひこばえ(薬)のお話

泌尿器科 浅野 耕 助



みなさん、今回は「ひこばえ」についてお話させてください。

ご存じの方もおられるかと思いますが、漢字で“薬”と書き、樹木の切り株や、倒木の残った根元から生えてくる若芽を指してひこばえといいます。語源は太い幹（お祖父ちゃん）に対して、若芽を孫（ひこ）に見立てて「ひこばえ（孫生え）」と言ったのが始まりのようです（ウィキペディアより）。俳句では春の季語となっています。

なぜ唐突にひこばえなのかというと、広島西医療センターの中庭にけやき亭というあずまや（四阿）があり、その名の通り両脇に2本のけやき（欒）が立っているのですが、なんと去年の9月、その欒の上の方の幹が2本ともバッサリ切り落とされているではないですか！なんてひどいことをするのだろうと心を痛めていたのですが、しばらくするとその切り株すべてからちよろちよろと細い枝が伸び始めているのを見つけました。またしばらく見ていると今度はその枝から若い葉が伸び始めているではありませんか。もう初冬に入って、確か欒は落葉広葉樹のはず、この寒空に葉を茂らせるとはと仰天しました。

結局12月も半ばを過ぎると、その若い葉も紅葉して落ちてしまいました。

そして春を迎えて、暖かくなると1度葉を落としたそれらの枝からまた新芽が芽生え、今度はどんどん茂っていくではありませんか。その姿を見て、自然の生命力の強さ、輝きに改めて驚きを覚え、取るに足らないことでくよくよする自分の小ささを思い、また

元気づけられたようです。

西棟の渡り廊下から見えます。みなさんもその自然の息吹を感じてみてください。



認定看護師・特定行為看護師の  
**エンブレム**が出来ました



「みなさん、つけてる人を見ましたか？」

当院には、診療看護師 1 名、6 分野の認定看護師（感染管理、がん化学療法看護、認知症看護、糖尿病看護、慢性心不全看護、摂食・嚥下障害看護の各 1 名）及び特定行為看護師 1 名が在籍しています。この度、患者・家族の方、また病院スタッフに認定看護師、特定行為看護師が一目でわかるように**エンブレム**を作成しました。

認定看護師は、それぞれの知識・技術を活かし、質の高い看護が実践できるように、そしてチーム医療のメンバーとして患者さんにより良い医療が提供できるよう活動を行っています。また、今年度より特定行為看護師も誕生し、認定看護師と特定行為看護師が様々な場面で協働し看護実践を行っています。

今後は、エンブレムに描かれている「にしーくん」同様に認知度を上げ、これまで以上に活躍ができればと考えています。是非、**エンブレム**を見かけたらいつでも、どこでも気軽に声を掛けてくださいね。

(エンブレムが一番似合う男) 摂食・嚥下障害看護認定看護師 安田重久





# 患者図書室から



## 暑い夏は涼しいお部屋で読書をしましょう



長い雨の季節が終われば、本格的な夏の到来。厳しい暑さが続きます。しっかり水分と休息をとって、夏バテに注意してくださいね。涼しいお部屋で読書を楽しみ、暑い夏を乗り切りましょう！

図書室の貸出の多い本をご紹介します。



### 「食事」 毎日欠かせない、お食事♡ 栄養をしっかりとってください

#### ☆長生きの切り札！ 亜鉛チャージ健康法

(平澤 精一 医師・岸村 康代 管理栄養士/アスコム)

カンタン！身近な食材で亜鉛をチャージ！「亜鉛」で弱った体を修復！



#### ☆漢方・ダイエット専門医が考案 医者がすすめる 薬膳ひとり鍋

(工藤 孝文 監修・浜内 千波 料理/主婦の友社)

薬効無限大の早ワザ鍋！不調改善 疲労回復 ダイエット 快腸・美肌 若返り 冷え症・むくみ撃退 免疫力アップ 肩こり解消 快眠



#### ☆NHKテキスト きょうの料理

(NHK出版)

毎日の食卓をより豊かに



### 「こころ」 コロナストレスの方にも、ぜひ

#### ☆「気がつきすぎて疲れる」が驚くほどなくなる 「繊細さん」の本

(武田 友紀/飛鳥新社)

「HSP(とても敏感な人)専門カウンセラー」が教える話題の本!



### 「健康」 参考になります

#### ☆絶対に休めない医師がやっている 最強の体調管理

(大谷 義夫/日経BP)

代わりのいないあなたへ！ 30年以上病気知らずの名医が教えます 常に最高のパフォーマンスを引き出す医学的に正しい方法

一季節を写真でご紹介—

図書室廊下に掲示しています



### 「介護」 認知症介護に直面した家族のリアルを綴る！

#### ☆ほけますから、よろしくお願ひします。

(信友 直子/新潮社)

ほろっとして、ほっこりする老老介護の日常—



### 「マンガ」 図書室のマンガは 3,000 冊以上！

#### ☆ゴルゴ13

(さいとう たかを/リイド社)

男性患者さんの貸出No.1。

ゴルゴシリーズは 200 冊以上揃っています！



開館時間 月～金 10時～15時 (土日・祝日・年末年始・第2月曜日をのぞく)

※第2月曜日が祝日と重なる場合、第4月曜日が休館となります。

場所 正面玄関から入って直進 70m 先



## \* 自分の体は自分で守る！ (Vol.1) \*

梅雨に入り、本格的な夏を控えたこの時期は、気温や湿度が上昇しやすく細菌性の食中毒が一年の中でも最も多発しやすい時期になります。食中毒予防の三原則は「つけない・増やさない・やっつける」です。

ほんの少しの気のゆるみから、ご自分や大切な人のお体へ大きなダメージを与えてしまう可能性があります。ご自身のお体だけでなく、大切な人のお体を守るために、ご家庭での参考にしてください。

### 【食中毒予防の三原則】

#### ●菌をつけない

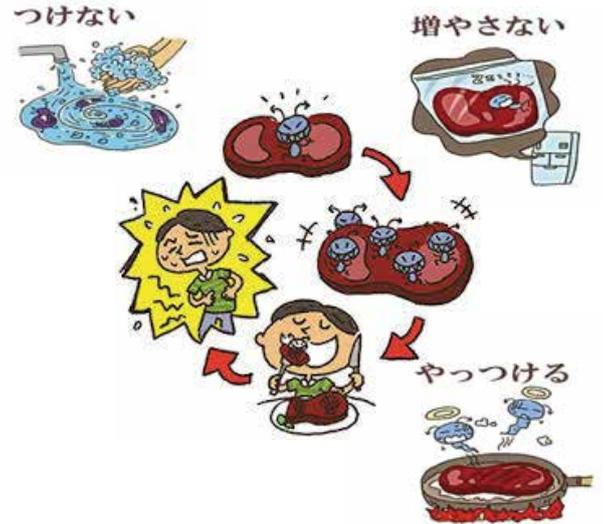
- ・手洗い（帰宅時・トイレ後・調理前・食事前は二度洗い）
- ・消費期限を守る
- ・食材ごとに保管、調理（生食と魚・肉類を区別）
- ・調理機器はしっかり洗浄、乾燥、消毒

#### ●菌をふやさない

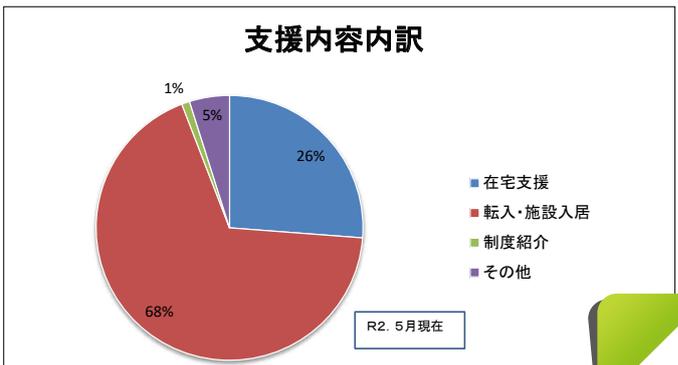
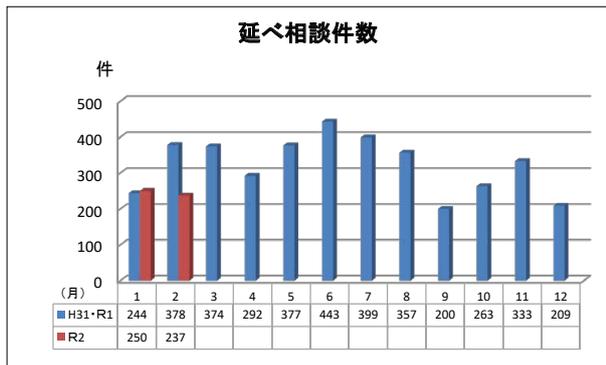
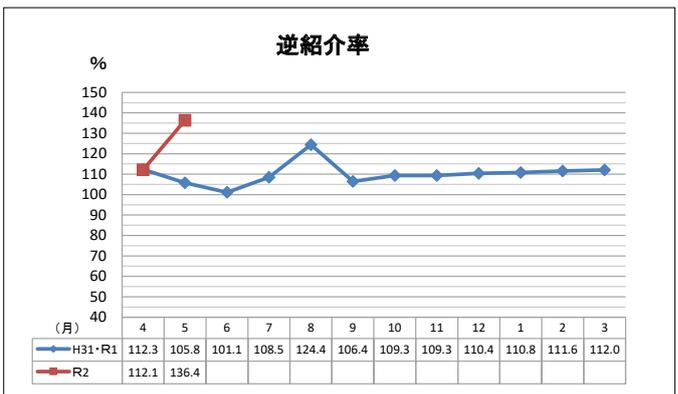
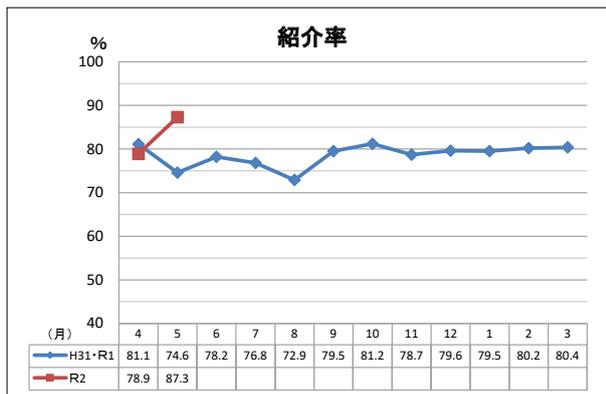
- ・購入したものは速やかに適切な場所（冷蔵・冷凍・冷暗所等）で保管
- ・調理済み食品を長時間、常温で放置しない
- ・冷蔵庫を過信しない（詰めすぎ防止・開閉回数注意）

#### ●菌をやっつける

- ・中心温度が75℃ 1 分間以上加熱（ノロウイルスの場合85～90℃で90秒以上）
- ・中心まで加熱できるようによくかきまぜる



## 地域医療連携室実績報告



# 外来診療担当医表

広島西医療センターホームページでも紹介しています。ご利用ください。  
<http://www.hiro-nishi-nh.jp/>

## 広島西医療センター

※受付時間 午前8時30分から午前11時まで

…前号からの変更箇所

令和2年7月1日現在

		月	火	水	木	金	備考	
総合診療科	初診	生田 卓也	亀谷 貴浩	亀谷 貴浩	生田卓也/亀谷貴浩	生田 卓也	下記の専門領域以外の新患	
	再診	亀谷 貴浩	生田 卓也	生田 卓也	亀谷貴浩/生田卓也	亀谷 貴浩	木曜日初診・再診隔週	
内科	1診	呼吸器/血液	廣大(呼吸器)	宗正昌三(血液)	下村 壮司(血液)	廣大(呼吸器)	再診外来予約制	
	2診	消化器/肝臓	藤堂祐子/山中秀彦(消化管)	兒玉英章(肝臓)	山中秀彦(消化管)	兒玉 英章(肝臓)		藤堂祐子(消化管)
	3診	内分泌代謝/糖尿病	/	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)		/
	4診	血液	/	廣大(血液)	黒田芳明(血液)	黒田芳明(血液)		角野 萌(血液)
	5診	循環器	藤原 仁(循環器)	中村秀志(循環器)	藤原 仁(循環器)	中村秀志(循環器)		藤原 仁(循環器)
	6診	腎臓/血液	倉恒正利(腎臓)	倉恒正利(腎臓)	/	廣大(血液)		廣大(血液)
脳神経内科	1診	山本優美子	黒田 龍	渡邊 千種	牧野 恭子	檜垣 雅裕	予約制	
	2診	牧野 恭子 (パーキンソン病)	渡邊千種(物忘れ) (第2・4・5)	黒田 龍	檜垣雅裕(頭痛)	黒田 龍	予約制 PM	
C A P D 外来		倉恒 正利	倉恒 正利	倉恒 正利	倉恒 正利	倉恒 正利	予約制 PM	
インスリンポンプ外来		太田 逸朗	/	/	/	太田 逸朗	予約制 PM	
禁煙外来		/	担当医	/	/	/	PM2~4 予約制	
小児科	一般外来	金子陽一郎	金子陽一郎	金子陽一郎	金子陽一郎	金子陽一郎		
	専門外来	予防接種※	慢性外来	乳児健診(予約制)	慢性外来	/	PM※は月曜日が休日の場合火曜日	
小児科	小児筋ジストロフィー	古川年宏・玉浦 萌	古川年宏・玉浦 萌	古川年宏・玉浦 萌	古川年宏・玉浦 萌	古川年宏・玉浦 萌	予約制	
	重症心身障害	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦		
	発達外来	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範		
	小児心身症	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範		
	神経外来	/	/	/	/	石川暢恒(第3)		
補装具		/	/	/	/	木村(第2・4)	予約制	
外科	初診	石崎 康代	今岡 泰博	嶋谷 邦彦	米神 裕介	嶋谷/今岡/石崎/米神	金曜日交代制	
	再診	嶋谷 邦彦	米神 裕介	石崎 康代	今岡 泰博			
整形外科	初診	宗盛 優	森脇 段	永田 義彦	/	根木 宏	木曜日手術日	
	再診	根木 宏	永田 義彦	根木 宏	/	永田 義彦		
	再診	(永田義彦/森脇 段)	宗盛 優/(根木 宏)	森脇 段/(宗盛 優)	/	宗盛 優/(森脇 段)	月曜日( )手術	
泌尿器科	1診	神明 俊輔	神明 俊輔	神明 俊輔	藤井 慎介	神明 俊輔		
	2診	山中 亮憲	浅野 耕助	浅野 耕助	山中 亮憲	浅野 耕助		
産婦人科		新甲 靖	/	/	新甲 靖	/	予約制	
皮膚科		稲束有希子	稲束有希子	/	稲束有希子	稲束有希子	水曜日手術日	
眼科		廣大医師AM	/	/	/	/	第2・第4月曜日	

### ●予約窓口●

- ・患者さんからの直接予約・予約変更は、平日13時~16時までに予約センターへご連絡下さい。
- ・医療機関からの予約 (CT・MRI 含む) は、地域医療連携室へご連絡下さい。
- ・予約窓口がわからない場合も、地域医療連携室にご連絡下さい。

■病院代表電話番号 TEL (0827)57-7151 ■予約センター(直通) TEL (0827)59-0251

■地域医療連携室 ダイヤルイン (0827)57-7183(内線2140) FAX (0827)57-7701